

白山市立博物館博遊会だより

白山博遊

目次

- 1 春の研修会・夏の研修会
- 2 研修旅行・長月コンサート
- 3 春のぶらり散策・秋のぶらり散策
・晩秋のぶらり散策
- 4 令和7年度事業計画・会員募集

第13号 令和7年4月発行／白山市立博物館友の会（博遊会） 平成15年発足
事務局 白山市立博物館内 〒924-0871 石川県白山市西新町168-1 ☎ 076(275)8922

○春の研修会 4月20日（土）「家から見る江戸大名-前田家」

講師 宮下和幸さん（金沢市立玉川図書館近世史料館学芸員） 千代女の里俳句館 参加者 28人



藩祖として加賀藩の礎を築いた前田利家、2代利長は徳川家に恭順することを選択して「百万石」を領有、外様の大藩となり、3代利常が徳川秀忠の娘・珠との婚姻で將軍家と関係を強化、他藩とは比べることが出来ないほどの存在に上り詰めた。

加賀藩「加賀百万石」というフレーズは加賀前田家の特別な地位や当時の政治・経済の規模を表現する場合などに多様に用いられています。

今回は加賀藩ではなく前田家という視点から見直し「御元祖様」「御祖宗」と表現され遠慮がちな利家の藩祖顕彰の動き、幕府における御三家に準ずる前田家の家格、前田家の加賀八家の存在さらに皇室や皇族・貴族等の関わり、幕末維新期に皇室への屏臣として生き抜いた前田家についての「御家」を意識してお話でした。

○夏の研修会 7月20日（土）「松任中川一政記念美術館～37年のあゆみとこれから」

講師 徳井静華さん（千代女の里俳句館 市学芸員）

参加者 15人

昭和61年の開館以来、作品資料の収集・保存、調査・研究そして展示・普及活動に取り組んで来たあゆみが紹介されました。

近年の調査では、中川一政画伯の文筆家・歌人としての一面の発掘、昭和21年金沢で創刊された文芸同人誌『方寸』への関与や歌会始での詠進者等。普及活動では広く県内小中学生対象の絵画公募展・子育て世代対象の「0歳からの家族鑑賞会」などを実施し、広く市民にわがまちの美術館として親しまれる運営を目指して来ました。令和5年の博物館法改正以後の地域に美術館があることの意義や、これからの有り方についても考える良い機会となりました。



◎令和7年度の事業計画（予定）

※参加費は昼食代込

① 総会・講演会

期 日 4月19日（土）午前10時～
演 題 「一向一揆と前田家」
講 師 東四柳 史明さん（金沢学院大学名誉教授）
場 所 千代女の里俳句館 研修室
受講料 会員無料 一般500円

② 研修旅行「武田耕雲斎等墓・気比の松原・敦賀ムゼウム」

期 日 6月27日（金）
参加費 4,000円程度
講 師 未 定
定 員 未 定

③ 春のぶらり散策「辻家庭園・西田家庭園 玉泉園・玉泉院丸庭園」

期 日 5月22日（木）
参加費 3,500円程度
講 師 未 定
定 員 未 定

④ 夏のぶらり散策 博物館事業に参加（山城サミット関連事業への協力）

期 日 7月
未 定

⑤ 夏の講座 山城サミット シンポジウム

期 日 9月14日（日）
講 師 千田嘉博さん（城郭考古学者）ほか
市事業 （山城サミット関連事業参加）
白山市主催事業参加応援
参加費 未定

⑥ 秋の講座

期 日 10月上旬～中旬
演 題 「未 定」
講 師 未 定
場 所 未 定
受講料 会員無料 一般500円

⑦ 晩秋のぶらり散策「高岡勝興寺・高岡市立博物館・福光美術館」

期 日 11月12日（水）
参加費 4,000円
定 員 未 定

⑧ 令和7年度新年のつどい

令和8年 2月中旬頃

※各事業につきましては、期日が近づきましたら
その都度詳細をお知らせします。

ぶらり散策は人気のため、申込期間をご確認の上、
お早めにお申込みください。
また、3館の事業には積極的にご参加ください。

白山市立博物館友の会（博遊会）会員募集

博遊会では、上記のとおり、講座、研修旅行、ぶらり散策や博物館等事業への参加を計画しています。
自分のペースで無理なく参加できますので、お気軽にご入会ください。

☆年会費…会員 2,000円・家族会員 1,000円



《問い合わせ・申し込み先》

白山市立博物館友の会「博遊会」事務局

白山市立博物館内

住所 白山市西新町168番地1

電話 076(275)8922

○秋のぶらり散策 10月18日(金)「富山市郷土博物館・池田屋安兵衛商店(薬膳料理)・富山県水墨美術館」参加費 4,500円 参加人数 18人



富山城は天文12年(1543)神保長織が築城、天正13年(1585)に豊臣秀吉に破壊され、以後前田利長・利次により改修され、明治4年(1871)に廃城され、県重文・千歳御門(埋門)は残ったが、昭和29年「(1954)に富山産業博覧会を記念して、城郭が復元、城址公園が開かれました。天主展望台の眺望は富山城を中心に栄えた街並みが見えました。越中富山の反魂丹で有名な売薬が全国に広がったのは元禄3年(1690)に江戸城で腹痛になった三春藩主 秋田輝丹に前田正甫が反魂丹を服用させ腹痛が驚異的に回復し

た「江戸城腹痛事件」という巷談もあり、其れを見聞きした全国の大名から「他領商売勝手」が發布され広まりました。反魂丹の広貫堂で丸薬づくりを見学し昼食に薬膳料理を食しました。

○晩秋のぶらり散策 11月5日(水)「大聖寺城と加賀市内(大聖寺城・料亭山ざし・長流亭江沼神社・全昌寺)」参加費 4,000円 参加人数 18人

加賀藩の支藩大聖寺藩の陣屋の後方に有る大聖寺城址を散策してきました。大聖寺城は南北朝時代から江戸時代前期迄存在した城(平山城)城名は「錦城」。

大聖寺川に近接し尾根には本丸、北の丸二の丸等6つの郭の跡が存在し。築城から幾多の城主を経て一向一揆の城主の後、小早川秀秋の家臣山口宗永が城主で、西軍についたため、東軍の前田利長に攻められ陥落、関ヶ原の前哨戦と言われる。元和元年(1615)幕府の一国一城令が發布、加賀藩は廃城し破却した。寛永16ねん(1639)には前田利治が7万石を分けられ、陣屋を儲けました。説明を聞きながらの山歩きは、想像以上にハードだったものの途中脱落者も無く無事完歩しました。「料亭山ざし」の昼食後に大聖寺藩主の休息所「長柳亭」を見学、禅昌寺の極彩色の五百羅漢像は圧巻で豊かな加賀市の文化に触れる事が出来ました。



白山市立博物館友の会 博遊会(はくゆうかい)について

◆会員特典

会員は、白山市立博物館・千代女の里俳句館・松任中川一政記念美術館の入館料が無料です。(特別展では別途観覧料がかかる場合があります)

◆事業協力・案内

博遊会では、白山市立博物館・千代女の里俳句館・松任中川一政記念美術館の事業実施時の参加協力などを行っています。また、事業開催の案内をします。

◆希望調査

博遊会では、ぶらり散策などの事業実施中に会員からアンケートを取り、その結果を次年度の事業計画に反映しています。

○研修旅行 5月8日(水)「前田家支藩七日市藩の陣屋と黒門・富岡製糸場」

参加費 30,000 円

参加人数 11 人

前田家支藩七日市前田藩・「黒門から赤門(東大)へ」 大阪の役の軍功により、元和2年(1616)に前田利家の5男・前田利孝は江戸幕府から1万石を与えられ、前田家から扶持米千4百石を得た。七日市に陣屋を構え、代々大阪城や駿府城の御加番を仰せつかり、12代まで存続したが、財政的に深刻な状況で加賀前田家の援助がなければ存続は難しかった。今も残っている御殿は陣屋の中心となる正殿の一部、黒門は正門で最も内側にあたります。富岡高校の敷地に有って同校の象徴的な建物であり、市民を始め多くの人に親しまれています。と地元の方のお話を伺い熱い思がうかがえました。



○春のぶらり散策 6月28日(金)「金沢城二の丸御殿再現建設現場・兼六園成巽閣・石川県立伝統産業工芸館」参加費 4,000 円

参加人数 25 人



金沢城二の丸御殿は江戸前期に創建に創建され、加賀前田家の政治・文化の中枢となった近世の城郭です。令和3年、復元整備の取り組みが始動し残された文献、絵画、広大な敷地に広がる礎石を基に再現計画が進められている。昼食は”四季のテーブル”で金沢料理「じぶ煮」を堪能しました。成巽閣は十三代齊泰の母隆子(眞龍院)の隠居所とし実家鷹司家の御殿が「辰巳御殿」と呼ばれ金沢城の巽方角で「辰巳御殿」と呼ばれ明治7年に「成巽閣」と改められました。

石川生活ミュージアムでは、石川の豊かな風土と伝統が育てた 36 業種すべての伝統工芸品が展示され、その技の巧みさ美しさに触れ穏やかな時間を過ごしました。

○長月コンサート 9月7日(土) 10:30～ 来場者 35 人

演奏：シェアリング・アンブレラ五重奏団

演奏曲：ファウスト より ワルツ(グノー)、ピアノ協奏曲 第1番 第2楽章(ショパン) 他

恒例のコンサートが開かれました、綺麗なドレス姿で会場一杯に響き渡る美しいメロディー「ショパン・ハイドン・シューマン」等の曲や、椰子の実、ミュージカルの曲、サウンドオブミュージックも好評で、高い天井の吹き抜けに響き渡る拍手が鳴りやまず。アンコールにも応えて下さり、笑顔一杯“心に残る”とても素晴らしいコンサートになりました。

